

一般会計補正予算14億5,200余万円の増額

※累計2,141億7,500余万円

【感染症対策事業】
 3億9672万円
 新型コロナウイルス感染症のPCR検査や患者の健康管理業務などに要する経費を追加します。

【新型コロナウイルスワクチン接種事業】
 5億4255万円
 1・2回目接種を完了した12歳以上の方を対象とするオミクロン株対応のワクチン接種や、乳幼児(6か月〜4歳)のワクチン接種にかかる経費を追加します。

【新型コロナウイルスワクチン接種事業】
 5億4255万円

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費やG7倉敷労働雇用大臣会合の開催に向けた経費、国・県の制度改正や補助内示に伴う経費等を中心に計上しています。

令和4年度12月補正予算の概要



第16号

市政報告
 発行 **あらき竜二**
 倉敷市日吉町476-4
 TEL: 086-422-7747
 FAX: 086-441-5377
 ✉: info@ryu2.biz
 http://www.ryu2.biz/

【G7倉敷労働雇用大臣会合推進事業】
 2219万円

G7倉敷労働雇用大臣会合に向けて、労働雇用をテーマにしたシンポジウムを開催します。また、官民一体となつて地元歓迎機運の醸成や開催支援に取り組みます。

【道路維持管理事業】
 1060万円

G7倉敷労働雇用大臣会合の開催に向けて、美観地区周辺道路の環境整備を行います。

【花と緑あふれるまちづくり事業】
 121万円

G7倉敷労働雇用大臣会合の開催に向けて、花の植栽イベントなどにより美観地区周辺の景観整備を行います。

【マイナポイント設定支援事業】
 1247万円

マイナポイント付与対象となるマイナンバーカードの申請期限が延長されたことに伴い、本庁及び児島・玉島・水島・真備支所に設置しているマイナポイント取得手続き支援窓口を、令和5年2月末まで延長します。

【ため池防災減災事業】
 150万円

防災・減災対策の強化を図るため、ため池水位監視システムを倉敷防災ポータルに接続するためのシステム改修を行います。

【浸水対策事業】
 6000万円

緊急自然災害防止対策として、排水機場の機能診断等を行います。

【高等学校普通教室エアコン設置事業】
 2270万円

高等学校の普通教室にエアコンを設置します。

【大阪アンテナショップ事業】
 247万円

(債務負担行為1013万円)
 大阪・関西万博(令和7年開催)の開催を見据えて、西日本最大の鉄道

膨らむ新型コロナウイルス対策経費

ターミナルで、関西国際空港から直接乗り入れが予定されている大阪駅に直結したアンテナショップの集積地となる大型複合機能ビルに出店します。(令和6年4月オープン) 令和9年3月予定)

H30年7月豪雨と新型コロナウイルス対策経費の比較

事業	平成30年~令和3年度実績額	令和4年度9月追加補正予算までの額	令和4年度12月補正予算額
平成30年7月豪雨等災害関連事業	494億3,577万円	9億5,418万円	—

(実績+予算)の累計 503億8,995万円

事業	令和2,3年度実績額	令和4年度9月追加補正予算までの額	令和4年度12月補正予算額
新型コロナウイルス感染症対策事業	760億9,684万円	189億5,289万円	9億3,927万円

(実績+予算)の累計 959億8,900万円

基本理念 だれもが訪れ快適な時間を過ごせる拓かれたボートレース児島

ボートレース児島は「KOJI-MAPARK」にリノベーションされます。

【基本理念・基本方針】

◎目的

・老朽化しているボートレース児島のスタンド棟の維持管理費の低減と、安心の確保のためのスタンド棟のコンパクト化、及び多様化するニーズや新規ファンの獲得のための改修を行います。

また、地域との共生や子育て世代の家族が楽しめることを目指した施設整備を行います。

・基本方針

- 1、観覧施設規模のコンパクト化。
- 2、来場促進及び多様なニーズへの対応。
- 3、地域の魅力を活かして多世代が集う交流と賑わいの創出
- 4、地域貢献施設として防災機能の整備。
- 5、環境に配慮した施設整備。

【現況】



延床面積：48,103㎡
座席数：8,605席
収容人数：24,271人

【スタンド棟の施設整備の概要】

【構想案】

2期スタンド棟解体し、5期スタンド棟を新築、3期・4期スタンド棟を改修



延床面積：36,000㎡
座席数：2,000席
収容人員：5,000人

導入機能・改修イメージ



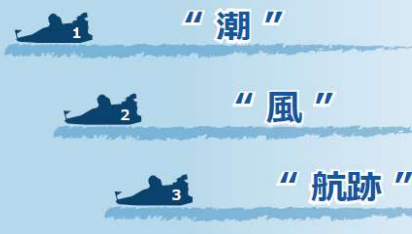
- ◎改修・改築による改善点
- ・2期スタンド棟(旧耐震基準)の改築による耐震性の改善(3期・4期は新耐震基準)
 - ・施設規模のコンパクト化(2期スタンド17,961㎡→5期スタンド5,000～6,000㎡)
 - ・延床面積36,000㎡程度の規模とする
 - ・新たな導入機能の配置(イベントホール、特別観覧席兼会議室(ROKU)、屋内キッズランドなど)
 - ・改修・改築による設備機器の更新

【デザインコンセプト】

“KOJIMA FLOW”

■新たなボートレース児島をつくる3つの“FLOW”

第5期棟の主たる役割を、BR 児島に由来する3つのフロー（流れ）になぞらえ、「ボートレースのスピード感、ダイナミックさ」「地域開放、地域貢献の発信」を表現します。



【防災・環境計画】

◎防災計画

・高潮等の際に地域の人々が垂直避難できる一時避難場所として屋上広場を計画します。

・災害時の屋内の一時避難場所として活用できる特別観覧席兼会議室（ROKU）を計画します。

◎環境計画

・第5期棟においては、従来の建物よりも、使用するエネルギーを30%以上削減しています。

・屋上緑化や太陽光パネルの整備など、目に見えるかたちで環境に配慮した計画とします。

【鳥瞰イメージ（水面側）】



第3期スタンド北面、曲面上の化粧壁
→既存スタンドへも「FLOW」を感じる要素を付加し、第5期棟との連続性を作り出します

「航跡」
レース機能を表現する、水面側に開いた建物フレーム

「風」を表現する立体的なテント屋根

「潮」ターンウォール
新たな来場者動線をつくる曲面壁

【事業概要】

◎事業手法

・ボートレースの開催との調整、早期の事業完了や、コスト削減効果などの優位性から詳細設計付工事発注方式（DB方式）を採用します。

◎概算建設事業

・令和4年7月時点での概算建設事業費

(単位：億円・税込)

項目	事業費
新スタンド棟整備	41.0
既存3期・4期スタンド棟改修	56.4
既存2期スタンド棟解体	6.2
外構等	4.7
設計監理	7.5
合計	115.8

※備品等の購入費、特殊設備の更新等の費用、移転等の費用は含みません。

◎今後の事業スケジュール
・令和4年度末までに事業者を選定し、令和8年度中の事業完了を目指しています。

	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
事業者選定	■				
実施設計		■			
既存3期・4期スタンド棟改修		■			
既存2期スタンド棟解体			■		
新スタンド棟整備				■	
オープン準備		● 一部供用開始			★ オープン

水島緑地福田公園屋内プール新築工事の 参考にするため行政視察を行いました。

「文化産業委員会」(令和4年7月13日)

倉敷市屋内水泳センター(新田)と水島緑地福田公園水泳場(福田町古新田)は、老朽化が著しく、修繕費や維持管理費が市の財政負担となつている。このため、この2施設の機能を水島緑地福田公園に集約し、(公財)日本水泳連盟公認の競技用プールとして再整備する為の参考のため栃木県の「日環アリーナ栃木」に行政視察を行いました。

【日環アリーナ栃木】

二〇二二年十月の国体に向けてプールの整備だけでなくスタジアム・武道館・陸上競技場など新設改修を県の事業として総合スポーツゾーンの整備を行っている。

・整備はPFI方式を採用し施設完成後にBOT方式を採用している。(施設完成後、所有権を公共に移住し、施設の運営・維持管理を民間に委ねている)

・プールについて50mプールは競泳・アーティスティック・水球兼用で、25mに2分割可能、床も可動式25mプールは飛込・競泳・アーティスティック・水球兼用で、可動床となっている。又、大小会議室等も整備されている。

・施設に企業の社名やブランドを付与する「命名権」を採用し、その収益を運営費等にまわしている。↓倉敷市も検討してみようか？

・地熱を利用して空調を行っている。↓倉敷市においても自然エネルギーの有効活用は大きな課題となっている。

【倉敷市のプール整備の概要】(予定)

- ◎屋内 50m 温水プール
(50m×10レーン程度)
 - ・水深0～3.0m程度
(可動床で水深調整可能)
 - ・長辺方向を可動壁で25mに区分可能
 - ・観客席(常設1,000席程度、仮設300席程度)
- ◎屋内 25m 温水プール
(25m×7レーン程度)
 - ・水深0～2.0m程度
(可動床で水深調整可能)
- ◎多目的温水プール
(15m×8m程度)
 - ・水深0.6～1.05m程度
- ◎工事費 55億
- ◎令和8年4月竣工予定



▲[日環アリーナ栃木]

公認 8レーン 25mプール飛込競技も可能な兼用プール

『編集後記』 (2023年)

昨年はやはりロシアのウクライナ侵略に尽きる。

二十一世紀にまさかど地震しました。テレビに映る惨状に胸を痛めながら、「終戦」が宣言される日が来るまで、私たちはどのくらい待つのかと思わずにいられない。その日が一刻も早く来るように祈ります。今年5月、広島市で開かれるG7サミットに伴う関係会合である雇用大臣会合が倉敷市で開催されることが決定しています。率直に誇らしい。世界の大臣や代表団の方々に私たちの文化や地域を見てもらいたい、そして経済活性化につながるよう努めたいと思います。

2011年東北大地震から今年には十二年。あれからあの地はどのように復興しているのでしょうか。未だ「帰還困難区域」がク市町村に残る福島にとってはまだまだ道半ばだと思えますが、原子力災害を経験した福島のこれからのしっかりとみていきたいと考えています。応援もしたい。

コロナ禍で果たせなかったお盆休みの予定、福島に行く、奇跡の一本松に会う、三陸鉄道に乗るなど果たせたらいいなと思います。今年はどうなるだろうか。願わくば笑顔で過ごせる日常が世界の当たり前になりますように。

困った人に寄り添える優しい社会になって欲しいと願います。

最後になりましたが、令和5年が皆様にとりまして輝かしい年になりますようにお祈り申し上げます。

あらき竜二